

- 自動車関連部品を中心としためっき加工が主、自動車業界のMASS・CASE化で構造変化が予想される中、主力内燃機関部品の加工以外にも、軸となる事業分野を模索。
- 系列に依らない価値を通じた繋がりを志向、従来取り組んでなかった「装飾性」の技術力を高め、自社の強み「量産」と掛け合わせて、ゴルフクラブヘッドの量産化を実現。
- めっき加工に付加価値を持たせるべく、各種難素材への加工等に、従前より取り組み、当該技術の基盤となる、めっき液を自社で製造するなど、研究開発を重点的に実施。繊維にめっき加工を施し、機能性を大幅に拡充させた「繊維めっき線」等を開発。

### <会社紹介>

#### 海のロマンス工場（常滑市）



（製品例）ゴルフクラブヘッド



#### 自動ニッケルめっき装置



「繊維めっき線」の開発



### <具体的な取組>

- 中小企業複数社で連携して、ゴルフクラブを商品化した過去取組実績を基に、国内ゴルフメーカーに営業を行い、自社の加工技術と量産の強みを評価されて、量産受注を実現。ゴルフメーカーの海外販路やブランド力を活かし、売上も順調に推移。
- 事業再構築補助金を活用し、ゴルフクラブの量産加工ラインを設置。また、中小企業経営強化税制を活用し、既存めっきラインを最新装置に更新・新設。生産スピードを高め、生産性向上を図る。
- 「繊維めっき線」は、25年前から研究、従来の銅線重量の6割、引っ張り強度5倍、屈曲性3倍と大幅に機能性拡充。試作段階であるが、今後、需要拡大に伴い、設備投資に繋げる予定。